



ゆたかクリニック病児保育室だより

2026年8月 第8号

営業日：月～金 8:00～17:30（祝日は休業）
所在地：北九州市小倉南区湯川新町4丁目25-2
TEL：093-932-7550



「病児保育って何？」
「利用したい時はどうしたらいいの？」
「何か準備する物はある？」
そんな疑問をお持ちの方は
ぜひホームページをご覧ください。



今回のテーマは「子どもへの薬の飲ませ方と注意点」です！

薬を飲ませるときに「どうやったら飲んでくれるかな？」、「薬を飲ませるタイミングは？」、「薬を飲ませるときにやってはいけないことは何？」など色々なことが気になっていませんか。

そんな保護者の方の疑問や不安を解消するために今回のテーマを選んでみました。ぜひご一読ください。

☆指示された使い方をキチンと守って使用しましょう！

医師は薬を処方する際に、お子様の病状の改善に必要な薬の種類、年齢や体重に合った量、病状に応じた使用方法、お子様の好み、の全てを考慮しています。薬の使用方法が書かれた紙をよく読んで、指示された方法を厳守して、薬は使いましょう。

薬局で渡される薬の有効期限は、今回の病気で使用する 것だけを保証するものです（※もちろん適切な保管がなされていることが前提ですが）。今回の病気で余った薬を、次回（例えば数か月後）の病気で使用する際の有効性・安全性は保証されていません。

☆Q&A

Q 薬の用法（使い方）には食後と書いてあるけど…？

A 薬の用法に「食後」と書かれている理由には、①副作用を減らすため、②効果を高めるため、③飲み忘れを防ぐため、などがありますが、子どもの薬の大半の理由は③です。

「食後」と書いてあっても、何も食わずに（空腹で）飲んで良い薬は色々あります（咳・鼻水止め、気管支拡張薬、胃腸薬、抗生物質など）。病気の際は食欲が落ちるので、空腹でも飲んで良い薬が否か、事前に医師や薬剤師に確認しておく方が良いでしょう。

満腹になると薬を飲まない子どもがいるので、食後の薬を食中に与える工夫も必要です。

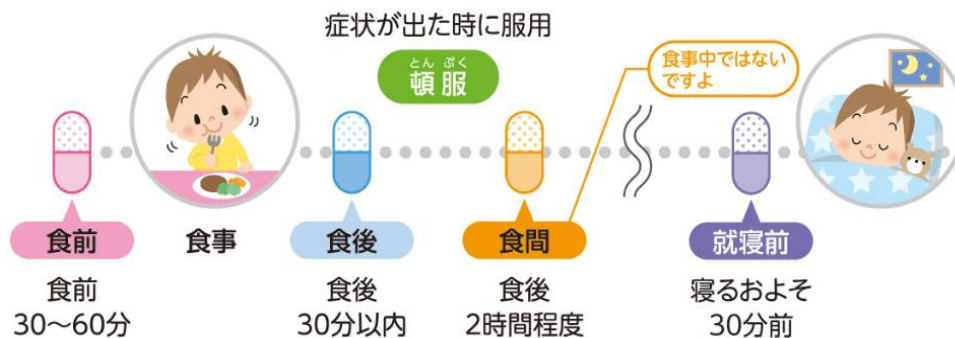
Q 薬を飲ませ忘れた場合は？

A 飲ませ忘れたからといって、絶対に2回分を一度に与えてはいけません。薬の種類によって対応が異なるので、医師・薬剤師に確認しましょう。

Q 薬を吐き出してしまった時はどうすればいい？

A 投薬してから何分後に吐いたのかを医師・薬剤師に伝え、相談してください。自己判断での再投与はしないでください。

☆薬を飲むタイミングについて



☆基本的な薬の飲ませ方

●スポイド

シロップはそのまま、粉薬は水で溶かしてスポイドで吸い、頬の内側と下の歯の間へ薬を注入します。飲んだことを確認しながら少しずつ注入しましょう。使用したスポイドは、よく洗って乾かします。



●哺乳瓶の乳首（シロップ限定）

哺乳瓶の乳首を外し、乳首だけを口にくわえさせます。子どもが乳首を吸い始めてからシロップを乳首の内側に注ぐと、子どもは上手に飲んでくれます。



●スプーン

シロップはそのまま、粉薬はスプーンの上で水と混ぜて、スープを飲ませる要領で飲ませます。一回量が多いとむせるので注意してください。



●小さめのコップや小皿

コップで飲めるようになったら、小さめのコップや小皿に薬を入れて飲ませましょう。粉薬は水と混ぜますが、たくさん水を入れると飲みきれないことがあるので、確実に飲める量に調整しましょう。むせないよう数回に分けて飲ませます。長くても30分以内には全量を飲ませてください。



●薬を頬の内側に塗る

指先に極少量の水を付け、次にその指に粉薬をつけます。指についた粉薬をお子様の頬の内側（両側）に塗ります。続いてミルク、母乳、水、お茶などを飲ませます。頬についた粉薬はミルク等と一緒に流れて飲み込まれます。粉薬全部を一度に頬の内側につけると口の中が粉だらけになってむせてしまうので、少量ずつ数回に分けて行ってください。

●飲食物と混ぜる

飲食物に混ぜても良いです。薬と飲み物の飲み合わせは『ゆたかクリニックホームページ内の waiwai 通信～薬ってどんな味？～』に詳しく書かれていますので参考にしてください。ただし、**薬と飲食物の組み合わせによっては薬の効果が弱くなったり、苦味が出る場合もあります。**薬の説明書を必ず読んで確認しておきましょう。

幼児（満1歳～小学校入学まで）には食物を与えている途中に気づかれないように食物に薬を混ぜて飲ませてみるのもいいでしょう。例えば「バナナペーストを食べている途中でバナナペーストに混ぜて薬を飲ませる。嫌な顔をしたらすぐに次のバナナペーストを口に運ぶ」といった方法です。

※飲食物に薬を混ぜると、本来の飲食物の味を薬の嫌な味と誤解して、その後からその飲食物を嫌がるようになる場合があります。

☆その他の注意点

・お子様に薬を飲ませる前に、その薬（又は飲食物に薬を混ぜた物）の味がどんなものを保護者は確認してください（少量で結構です）。どうすればお子様が飲んでくれるかのヒントになると思います。

☆薬の剤形を変えてみる

薬によっては剤形（粉、シロップ、座薬、錠剤、貼り薬など）が複数あるものもあります。お子様に苦手な剤形があれば変更が可能か、医師・薬剤師に相談してみましょう。

☆誤飲に注意！

薬の誤飲事故（薬を大量に飲む、大人の薬を飲む等）が多く発生しています。お子様の行動範囲を考え、お子様の手が届かない場所、見えない場所に薬は保管しましょう。また薬は服用直前に出して、服用後はすぐに片付けましょう。



もしお子さんが誤って薬を飲んでしまった場合は、かかりつけの医師、薬剤師、または以下の相談機関に電話しましょう。

- ①北九州市テレフォンセンター 093-522-9999（24時間）
- ②福岡県救急医療電話相談 #7119 又は 092-471-0099（24時間）
- ③福岡県小児救急医療電話相談 #8000 又は 092-731-4119（夜間）